

第3回フォーラム まち・みち・たてものを、愛でる・いじる・生かす

第10回 前川國男建築セミナー

五感に触れる建築

— ル・コルビュジエから前川國男へ引き継がれた思想の遺伝子 —

世界遺産となった国立西洋美術館の設計者で、20世紀の建築に大きな影響を与えた建築家ル・コルビュジエが自ら設計し、終の棲家となったのが、南フランスにある「カップ・マルタンの休暇小屋」です。2010年から2012年にかけて、ものづくり大学の学生と教職員とのチームがそれを現地で実測し、行田市のキャンパス内に精巧に再現しました。その過程をまとめ考察した本『図解 世界遺産 ル・コルビュジエの小屋ができるまで』が、この春に出版され注目を集めています。

今回は、著者である藤原成暁氏・八代克彦氏から、一連の作業から見てきたコルビュジエの思想についてお話を伺います。さらに、彼の弟子である前川國男まで流れているものについて、前川事務所の橋本功氏に語っていただき、埼玉会館を基点に浦和のまちへも議論を広げていければと思います。

● 講演

藤原成暁

ものづくり大学名誉教授

八代克彦

ものづくり大学名誉教授

橋本功

(株)前川建築設計事務所
代表取締役所長

● コメンテーター

青山恭之

アトリエ・リング

2023年

10月9日(月祝)

13:30~16:30 (開場:13:00)

埼玉会館 大ホール

聴講無料 (要事前申込・定員300名)

主催:さいたま国際芸術祭実行委員会
(公財)埼玉県芸術文化振興財団
協力:ものづくり大学

Art
Saitama
2023

さいたま国際芸術祭2023
市民プロジェクト
創発inさいたま

3回目となるフォーラム「まち・みち・たてものを、愛でる・いじる・いかす」は、「さいたま国際芸術祭2023」の市民プロジェクト「創発inさいたま／埼玉会館と浦和の街」として企画され、第10回「前川國男建築セミナー」との共同で開催されます。浦和の街の要として位置づけられる埼玉会館ですが、設計者である前川國男にとって、大学卒業直後の2年間という時期に師事したル・コルビュジエの影響は多岐にわたりました。前川の作品を見ていくと、埼玉会館がひとつの転換点を示すように、コルビュジエの作品も、カップ・マルタンの休暇小屋あたりから次の時代が拓かれていくと感じられます。タイミングよく、ものづくり大学でのカップ・マルタンの休暇小屋のレプリカを制作する事業をまとめた本^{*}が出版され、その精緻な考察から、この小屋の意味があぶり出されてきました。そこで働いていた「思想の遺伝子」がコルビュジエから前川へと引き継がれたのではという仮説を立て、今回はここに議論の基点を置いてみようと考えました。それは今日の街づくりや建築のありかたに対する、大切な内容を含んでいるのではないかと思えるのです。(青山恭之)

※『図解 世界遺産ル・コルビュジエの小屋ができるまで —カップ・マルタンの休暇小屋、現地実測図面集—』



● 講演者プロフィール

藤原成暁 (ふじわら なりあき)

東京都生まれ。武蔵野美術大学造形学部建築学科卒業後、鬼頭梓建築設計事務所を経て藤原成暁設計室設立。ものづくり大学名誉教授、日本工学院専門学校非常勤講師。

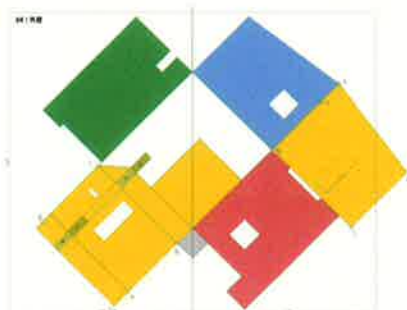
八代克彦 (やしろ かつひこ)

群馬県生まれ。博士(工学)。東京工業大学工学部建築学科卒業後、中国政府給費留学生として黄土高原の洞穴住居窑洞(ヤオトン)研究で西安冶金建築学院(現西安建築科技大学)に2年間留学。その後、札幌市立高等専門学校(現札幌市立大学)を経て、ものづくり大学名誉教授。

橋本功 (はしもと いさお)

神奈川県生まれ。日本大学理工学部建築学科卒業後、(株)前川國男建築設計事務所、同取締役を経て、現在代表取締役所長。弘前市から熊本県まで、使われている全国の前川建築の保全改修や、前川建築に関する様々な活動に精力的に係わり続けている。

埼玉会館から広場へ(橋本功)



折り紙建築による外皮(八代克彦)

カップ・マルタンの休暇小屋図面、小屋でのル・コルビュジエ [藤原成暁氏によるドローイング]

このチラシの表面で使用したのは、実測図からのドローイングで、立面図ではコルビュジエが顔をのぞかせています。また裏面(この面)は、写真をもとに一部想像を加えて、小屋でありのままの姿で過ごす彼の姿を描いています。藤原氏は、実測図に基づいた精緻なドローイングを制作されており、講演当日、大ホールのロビーにてその一部を展示いたします。休憩時間や講演時間の前後にもご覧いただけます。



埼玉会館 SAITAMA HALL

〒330-8518 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-1-4

お問合せ Tel;048-829-2471(代)

休館日を除く 10:00~19:00

Mail ; info-kaikan@saf.or.jp

https://www.saf.or.jp/saitama

電車でのアクセス JR 宇都宮線・高崎線・京浜東北線・湘南新宿ライン 浦和駅(西口)下車 徒歩6分

参加申込方法

聴講無料 定員300名 申込期間;8月20日(日)から定員に達した時点で締め切らせていただきます。

●申込みフォームでのお申込み QRコードよりご利用ください。

●メールでのお申込み 下記①~⑥を明記のうえお申込みください。

①氏名(漢字) ②氏名(フリガナ) ③電話番号 ④メールアドレス

⑤人数 ⑥同行者氏名 送付先: info-kaikan@saf.or.jp

※件名に「10/9イベント参加申込」とお書きください。

●窓口でのお申込み

埼玉会館B1F受付にて申込用紙にご記入ください。受付時間: 休館日を除く 10:00~19:00

※ 最新情報は、埼玉会館ホームページをご覧ください。

